

# —佐久商工会議所1年の動き—

平成27年度スローガン

**未来を見つめて**

**弛まぬ挑戦 さらなる飛躍**

**全国初!**

**会員限定**

**佐久商工会議所ギフトカード事業**

**日本商工会議所より「事業活動表彰」受賞**

四月二十日(月)二十一日(火)佐久情報センター  
八十二銀行・長野銀行・上田信用金庫・長野県信用組合「協力」

- ① 佐久商工会議所の会員間取引を活性化し地元経済にもっと明るさを!
- ② 佐久商工会議所全会員の参加で、連携力・組織力をさらに高めよう!
- ③ 「元気な人! 元気な企業! 元気なまち!」そんな佐久市を全国に轟かせよう!

当所では、右のスローガンのもと五三二事業所が参加し、全国初の試みとなる自己財源による十五%プレミアム商品券(発行総額一億千五百万円)を発行した。  
本事業は、日本商工会議所第一二三回通常議員総会で、全国初の試みとなる、自己財源による一五%プレミアム商品券発行事業に対して、日本商工会議所表彰「事業活動表彰」(全国で十会議所・一連合会)を受賞した。



▲三月十七日(木)日本商工会議所三村会頭より表彰を受ける榎山会頭



▲販売窓口でギフトカードを買い求める会員

**発行総額**

**¥115,000,000-**

[1億1,500万円]

10万円の購入ですと、11万5千円分のお買い物に使えます。(15,000円お得です)

**会員限定 佐久商工会議所ギフトカード**

Members only [商品券]

15%プレミアム

SAKU CHAMBER'S GIFT CARD



# 佐久市商工団体連絡協議会

## 「佐久市プレミアム商品券」

### 発行総額十二億円

### プレミアム商品券発売で行列

### 佐久市 大きな混乱なく

佐久市で9日、プレミアム商品券の販売が始まった。同市のプレミアム商品券は1枚千円分、12枚1万円(1万円2千円分)を1万円で購入。全10万枚販売し、1人1回につき10万円まで購入できる。9日は6万1千枚を扱い、午後6時までに完売した。県内19市では最も遅い販売開始で、8日の夜から並んだ人もいたが、大きな混乱はなかった。

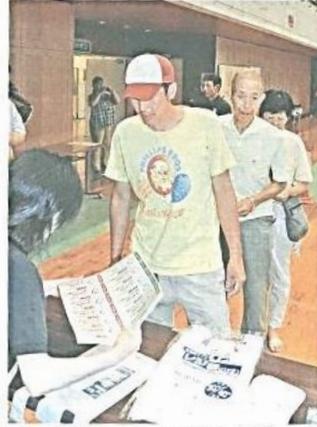
佐久市商工団体連絡協議会が発行し、市が後援する。販売時の混乱を避けるため、この日の取り扱い場所は県佐久創造館(猿久保)や、イオンモール佐久平(佐久平駅南)など9カ所に分散。10日は市内19郵便局などで3万9千枚を販売する。

同創造館前には、販売開始

▶八月十日(月) 信濃毎日新聞



▲商品券を求めておいでなん処前に並ぶ人達



9日に販売を開始した佐久市のプレミアム商品券

した佐久市安原の会社員中村聡志さん(37)は「ほかの地域で販売後すぐに売り切れたこともあったので、早めに来た。6万円分得したので、これで家電などを買いそろえたい」と笑顔だった。

### を発行

市内商工団体で組織する佐久市商工団体連絡協議会では、佐久市の後援のもと、発行総額十二億円(プレミアム商品券を、八月九日(日)に佐久創造館や岩村田本町商店街などでなん処等での販売。十日(月)からの平日は市内郵便局や当所でも販売を行った。

プレミアム商品券取扱店では、のぼり旗を掲げたり粗品のプレゼントやチラシ、ブログ、LINEなどのPRなど独自の販促活動で効果をあげた。当所ではプレミアム商品券取扱店を対象に、DMハガキ販促支援補助事業を実施した。

## 産業支援機関特別委員会

中小企業の多い佐久市は下請け産業が多く、自社ブランドや将来のための自社技術深化に対する戦略構築には人的など内部資源が弱い現状があり、これらを解決するために、新たなビジネス育成ラボと既存事業の存続拡大を担う産業支援機関の設置を目指す産業支援機関特別委員会を設置しました。

委員会では、佐久市に産業支援機関の設置による支援体制を構築する必要を管内企業から要請されている旨、要望書を市長へ提出いたしました。



## まちづくりに関する特別委員会

当所では、これからのまちづくりに向けて佐久市まちづくりビジョンを策定し行政に提言を行っていくことを目的に「まちづくりに関する特別委員会」を立ち上げた。



これからの佐久市のまちづくりに、特に樋橋地区の開発構想は避けて通れない問題であり、当委員会においてもどのような利用・開発が将来の佐久市にとってより良いものになるか、また長野牧場の加藤場長から、佐久の持つ地域資源と特色についてレクチャーをいただくなど、活発な議論が行われている。

# 被災地復興を願い会員千百名が合唱

## 会員感謝音楽祭

日時：二月二十七日(水) 場所：佐久創造館

### 上田正樹 沢田知可子

当所共済制度還元事業の会員感謝音楽祭では、四〇〇事業所、一一〇〇名が来場した。

最初に登場した沢田知可子さんは、「幸せになるう」「会いたい」などのヒット曲のほか復興支援ソング「花は咲く」を披露。沢田さんは父が福島県、母が岩手県出身で、ご主人の叔父が宮城県岩沼市で被災されたとのこと、当所の復興支援事業にも共感され急遽「花は咲く」を歌うことを快諾してくださった。会場にいる皆さんの思いを届けたいとの一心で、ステージから呼びかけながら観客が一体となり被災地復興を願いながら歌った。

続いて上田正樹さんは、ヒット曲「悲しい色やね」はじめブルースを熱唱。最後に二人は「見上げてごらん夜の星を」のハーモニーで魅了し、会場全体があたたかな雰囲気であふれた。



▲福島の復興を願い、私たちは忘れません

# 福島県商工会議所連合会渡邊会長からのビデオメッセージ全文

福島県商工会議所連合会の会長で、福島商工会議所会頭の渡邊博美と申します。本日の佐久商工会議所様の会員感謝音楽祭に際しましては、復興支援事業として福島県内の物産品を多数ご購入いただきまして誠にありがとうございます。また、東日本大震災・福島第一原発事故から間もなく5年が経過しようとしておりますが、この間、佐久商工会議所の皆様におかれましては、多大なる義援金をはじめ県内沿岸部の商工会議所に電動自転車をご寄贈いただくなど、様々なご支援をいただいておりますことに対して、重ねて御礼を申し上げます。

大震災・原発事故の風化が叫ばれる昨今、皆様のこのような心温まるご支援は、私達に勇気とやる気を与えてくれています。この先、一日も早い復興・復興を成し遂げられるよう、県内商工会議所が一丸となって精一杯前に進んで参りますので、今後とも皆様のご支援・ご協力をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

ここ福島県には、風光明媚な自然、様々な泉質を楽しめる温泉、国内でも有数の酒蔵など魅力がたくさん詰まっています。お近くにお越しの際は、是非福島県にお立ち寄りいただけます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



▲上田正樹さん、沢田知可子さんの心ふるえるハーモニー



- 渡邊 博美様(福島商工会議所 会頭)
- 前列中央
- 石井 浩(福島商工会議所 専務理事)
- 前列右から2番目
- 本田 政博様(福島商工会議所 理事兼事務局長)
- 2列目右端
- 丹野 典之様(福島商工会議所 事業推進部長)
- 2列目左端
- 斎藤 可子様(福島商工会議所 女性会 会長)
- 前列右端
- 横山りつ子様(福島商工会議所 女性会 副会長)
- 前列左から2番目
- 山岸 智子様(福島商工会議所 女性会 副会長)
- 前列左端
- ※他、福島商工会議所の職員の皆様

過去最大の来場者で賑わう

# 「ぞっこん! さく市」

日時：十月三日(土) 四日(日)  
場所：駒場公園・佐久創造館・長野牧場

佐久市最大の産業総合イベント「ぞっこん! さく市」は両日とも天候に恵まれ来場者も過去最多の四万九千七百名となった。

センタードームでは、佐久ものづくり研究会(チームZERO)を中心に佐久大学・佐久市健康づくり推進課と連携した健康テーマパークや佐久高等職業訓練校のオープンキャンパスなどで賑わった。

また、長野牧場ではヤギとのふれあい体験や環境フェア(佐久地方事務所)も併催され、ホンダFCX(水素で動く電気自動車)の展示など賑わいを見せた。



▲アンパンマンショー・SAKUコレクション・マーチングバンド等多彩なイベントで盛り上がった



▲健康テーマパークや佐久高等職業訓練校のオープンキャンパスなどで賑わうセンタードーム



▲佐久大学・佐久市健康づくり推進課と連携し三百人超の体験者で賑わう健康テーマパーク



# 観光用EV「オカীগゴ」

## 世界最大級旅の祭典へ

シリーズEXPOジャパン2015



▲国際色豊か! 世界各国の興味の的に

九月二十五日(金)二十七日(日)の三日間東京ビッグサイトで開催された「シリーズEXPOジャパン2015」にオカীগゴとおんたま君を出展。

オカীগゴは日本商工会議所ブースの入口に展示され、「一台の制作費はどれくらいか?」、「走行距離はどれくらいか?」、「いったい質問があった。また、世界各国の興味の的となり、多くの皆さんが笑顔で記念撮影を行っていた。

※シリーズEXPOジャパンは、世界から百四十を超える国・地域、日本全国各地の魅力を集まり、国・

# オカীগゴ下諏訪を走る!

開催：十一月七日(土)

広域連携の一環として、中山道交流事業に取り組む下諏訪商工会議所が、当所が開発した観光用EVに魅力を感じ、年二回開催している祭り「三角八丁」でのオカীগゴ搭乗体験を行った。今回初めての交流事業となったオカীগゴは、秋宮と春宮の間の中山道を往復し、多くの方の注目の的となった。



▲街道をゆくオカীগゴ

# 佐久鯉発祥の野沢に 『佐久鯉』が泳ぐ川をみたい

野沢商店街

十一月十二日(木)

野沢商店街振興組合と佐久の鯉人倶楽部では、山門入口に流れる堂川を佐久鯉が泳ぐ綺麗な川に整備し餌あげ等ができる新たな観光ポイントにしようと、川に生えた藻やヘドロ、ゴミ等の清掃を行った。同組合の藤田吉孝理事長は「佐久鯉発祥の地である野沢に佐久鯉を放流することで、大勢の人達に親んでもらいたい」と話してくれました。今ある資源を有効に活用し、地域皆で魅力のアップに取り組んでいくことが新たな地域の活力に繋がる。

11月13日(金)  
信濃毎日新聞掲載



地域の皆で汗を流して  
ヘドロを掃除



堂川の水深を取り除くのざわ商店街振興組合の活動

## 「佐久鯉」の泳ぐ姿見に来て 地区内で放流へ河川清掃

佐久

佐久市ののざわ商店街振興組合が、地区内を流れる川を整備して、市の物産「佐久鯉」を放流する計画を進めている。新しい観光ポイントにして遊ばせたいと、12月12日は、同組合と佐久市議会(安中市)の職員らが川清掃をした。

泳ぐ姿を見ることがない佐久鯉は、地元産の魚を放流して、1年ほど前から取り組む。佐久市消費協会の協力もあって、地元産の魚を放流する。同組合の藤田吉孝理事長は「佐久の観光振興の協力もあって、同組合の成田山門前にある『ひんがし』に『佐久鯉』を放流する」と話している。

### のざわ商店街振興組合「観光の目玉に」

放流する場所は、成田山参道の入り口部分で流れる約20分。掃き取り、アヤメやハシロアヲを植えるなどして、景観も整備する。12月以降に地元産の佐久鯉が安産を放流し、細やかな観察や勉強会なども予定しており、完成は来年の春を見込んでいる。

12日約20人が参加。川の中に入り、底の水草をコップなどで取り除いた。同組合の代表者である藤田吉孝理事長は「水質をきれいにして、観光客に佐久鯉を泳がせるのが、のざわの目標です」と話している。

また、同組合の成田山門前には「ひんがし」の観光ポイントとして整備している。同組合の成田山門前には「ひんがし」の観光ポイントとして整備している。

# 懐かしい花市の雰囲気 夏の風物詩を楽しんで

いわんだ花市 盛況に開催!  
岩村田本町商店街

八月十二日(水)

お盆にご先祖をお迎えする際にお供え用の花や線香、麦わらなどをそろえる「花市」。岩村田本町商店街振興組合では青年会が中心となって、「いわんだ花市」を開催した。

金魚すくいや射的に紙芝居など、昔懐かしい縁日の雰囲気がいっぱい。地元高校生が会場準備から参加し、盆花やじゃがバターなどの販売も行った。

また商店街では通常より営業時間を延長し、ワゴンセールを行なう店もあって多くのお客様で賑わった。



▲夕涼みのお客様で大盛況のいわんだ花市

# 人を知るきっかけに 「まちゼミ」開催

中込商店会

中込商店会では店主が講師となり、自分で開催することにより店を知ってもらおうとキッカケに繋がりを、商店街に足を運んでいただく「まちゼミ」全三回(全一五講座)を開催した。包丁研ぎや、ヨガ講座、燻製作り体験など多くのメニューがあり、人気講座は募集が始まるとすぐに、定員に達するなど中込商店会の名物事業として定着してきている。



▲笑顔あふれる商店街づくりに